

分析機器部門講習会シリーズ

Zeiss イメージングセミナー

光学顕微鏡による蛍光イメージングは組織や細胞内におけるさまざまな現象を観察するための有用なツールです。本セミナーでは、Zeiss のレーザー顕微鏡 (LSM780) と超解像顕微鏡 (ELYRA) が、どのようなアプリケーションに適しているのかを画像を交えながら紹介します。

また、実機のデモンストレーションも行いますので、画像取得をされたい方は次ページの連絡先までお問い合わせください。

日 時 : セミナー 平成25年9月9日 (月) 11:00~12:00
デモ (予定) 9月24日 (火) ~9月26日 (木)

セミナー内容 : レーザー顕微鏡 (LSM780) と超解像顕微鏡 (ELYRA) の紹介

講 師 : 渡邊 俊之 氏 (カールツァイスマイクロコピー)

場 所 : セミナー: 医系研究棟2号館2階 共通ゼミ室
デモンストレーション: 医系研究棟2号館1階 超微形態研究室3

定 員 : セミナー: 15名
デモンストレーション: 詳細は後日連絡

申込期間 : 平成25年9月5日 (木) 正午まで

申込方法 : 電子メールで、「講習会名 (Zeiss)」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、を明記の上、 ikuyo@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。
デモンストレーションの詳細は、後日案内をします。

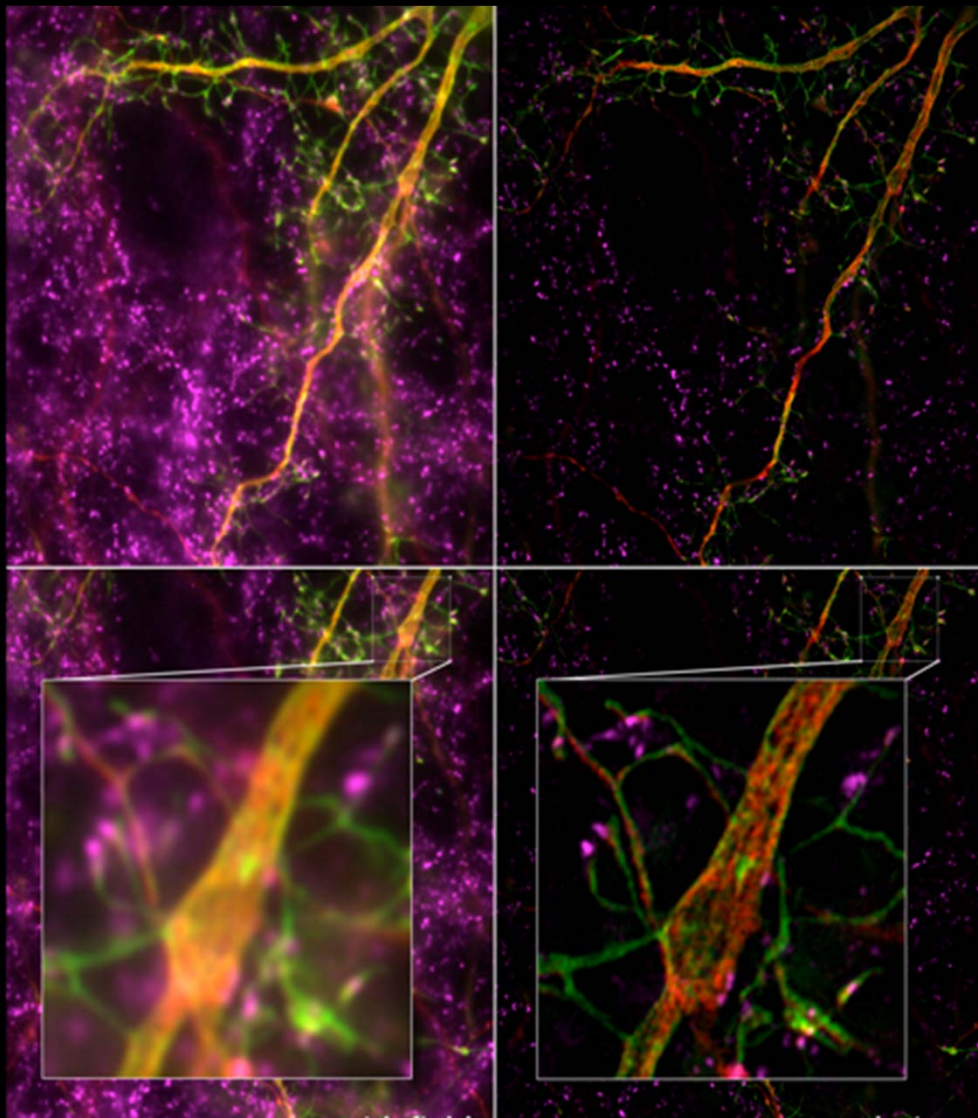
ZEISSイメージングセミナー

日時：2013年9月9日（月） 11：00～12：00

場所：医学部 医系研究棟 2号館 2階 共通ゼミ室

紹介製品：レーザ顕微鏡（LSM780）/超解像顕微鏡（ELYRA）

演者：渡邊 俊之（カールツァイスマイクロスコピー株式会社）



写真：Confocal像（左）とSIM像（右）の比較。海馬ニューロンの2重染色像。

・光学顕微鏡による蛍光イメージングは組織や細胞内におけるさまざまな現象を観察するための有用なツールです。近年、PAL-M（Photoactivated Localization Microscopy）やSIM（Structured Illumination Microscopy）をはじめとする“超解像顕微鏡法”と呼ばれる新たな手法が考案され、従来の光学顕微鏡で限界とされてきた分解能（約200nm）より細かい構造の観察が可能となってきました。

本セミナーでは、ZEISSのレーザ顕微鏡（LSM780）と超解像顕微鏡（ELYRA）が、どのようなアプリケーションに適しているのかを画像を交えながらご紹介させていただきます。

※実機によるデモンストレーションは、

9月24日（火）～26日（木）を予定しております。

デモンストレーション連絡先:

カールツァイスマイクロスコピー(株)

大島 弘康

E-mail: hiroyasu.oshima@zeiss.com

